

社 協 だより

第167号

令和3年
11月10日発行



高齢のお客様に寄り添った対応を心がけるために



誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進します



編集・発行

社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会

<http://care-net.biz/15/sado-shakyo/>

佐渡市社協

検索



佐渡市畑野甲533番地 TEL 0259-81-1155 FAX 0259-81-1156

もくじ



- ◆ 表紙の紹介…………… 2ページ
- ◆ かんたんタオル体操…………… 2ページ
- ◆ ボランチャコーナー…………… 3ページ
- ◆ 子どもと地域をつなぐ…………… 4ページ
- ◆ 社会福祉功労者表彰…………… 6ページ
- ◆ 寄付のお礼…………… 6ページ
- ◆ お知らせ…………… 6ページ
- ◆ みつけて応募!…………… 7ページ
- ◆ 輝く島のうし年さん…………… 8ページ
- ◆ このマークなあに?…………… 8ページ
- ◆ 地域域のちっといひ話…………… 8ページ

今月の表紙

社会福祉協議会では、企業や集落等に職員が出向く「ふくボラ講座」を実施しています。

今回、佐渡農協畑野支店の職員の皆さんを対象に「高齢者の立場にたった窓口対応」をテーマに開催しました。ケアマネジャーからの講義の後、高齢者疑似体験セットを装着して窓口での書類の記入や対応を実践。装着して改めて高齢の方の見えづらさや記入のしづらさ、聞こえにくさなどを体感していました。講義と体験を通して、職員の皆さんから今後の業務に活かしていきたいという声を多くいただきました。

「ふくボラ講座」では、福祉に関する様々なプログラムをご用意しています。企業や団体の研修会、勉強会等で受講してみませんか？お申込みお待ちしております！

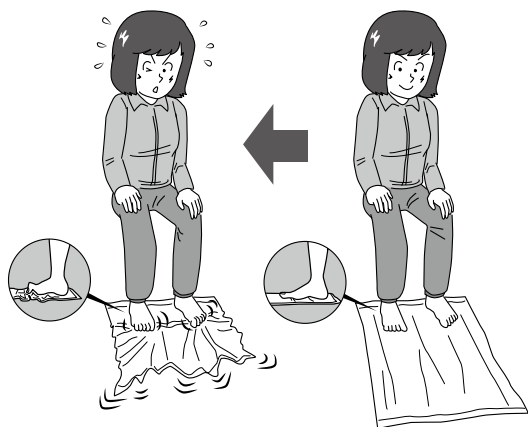


かんたん！タオル体操

家でやってみてくれえつちゃ！



椅子に座り、足の下にタオルを広げます。



そのまま、足の指だけを動かしてタオルをたぐり寄せます。かかとを浮かさないのがポイントです。これで膝から下の筋肉を鍛えることができますよ。



ボランチャコーナー

どんどん★ボランチャ

「赤いエプロン」が私たちが地域でできること」

佐渡地区郵便局長夫人会



私たちは、少しでも地域の皆さまのお役に立てるように施設でのボランティア活動に取り組んでいます。お風呂上がり利用の皆さまにドライヤーをかける際には、熱い風があたり過ぎないように、心地よいと感じていただけるように、気をつけながら作業を行っています。今後、少しでも地域の皆さまの笑顔が見られるように活動していきたいと思っています。団体の愛称である「赤いエプロン」が目印です！

募金総額
44,159円



報告

24時間テレビ44チャリティー募金

今年も24時間テレビチャリティー募金を実施しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、昨年に引き続いて社協窓口での募金受付となりましたが、温かなご協力をいただきありがとうございました。

報告

セカンドライフ講座 初めてのスマートフォン

9月10日、「初めてのスマートフォン」講座を開催しました。当日は、セカンドライフを充実させるきっかけとして、ボランティア活動の紹介を行った後、ドコモショップ佐渡店様から操作についてお話をいただき、参加者は持参したスマホを片手に熱心に受講していました。受講後には、ボランティア登録や活動を希望した方もいらっしゃいました。今後、地域の皆さまが一歩踏み出すきっかけとなるような講座を計画していきたいと思っています。



ボランチャコーナーに関するお問合せは
佐渡市ボランティアセンター ☎ 81-11155





子どもと地域をつなぐ

地域の教育力と社協の役割



皆さんが抱く社協のイメージは、どのようなものですか？もと

うになってきたのではないでしょう

が分からないのですから、コミュニケーションの取り方をはじめ、

らに相手の立場に立って考える心や、共に生きる力を学び取ってほ

もと高齢者向けの事業が多く、デイサービスセンターなども運営しているの

「出前塾」は福祉教育事業の愛称で、高齢者疑似体験や車いす体験などのプログラムがあります。

ことが招く「無関心」は、支え合い・助け合いの地域づくりに

がら新型コロナウイルスの影響を受けて開催を断念せざるを得ませんでした

特に佐渡市ボランティアセンター

が増えてきたことを受け、その関

体験プログラム」を企画し、夏休

命されるようになってい

（以下、ボラセン）では、子ども

わり方を体験的に学ぶ機会として、

ボランティア体験、児童クラブでの宿題

を強く感じずにはいられません。

たちに福祉との関わりをもっても

平成21年に誕生しました。

み中の児童・生徒を対象とした介

もた

らうための事業に力を入れていま

先

護施設や配食サービスのボラン

で

す。中でも「出前塾」は多くの学

に、生徒の皆さんに「85歳になっ

ボランティア体験、児童クラブでの宿題

を強く感じずにはいられません。

校で実施しているので、学校関係

た

ボランティア体験などを予定して

で

者の方々や、お子さんがいらっ

の

ボランティア体験などを予定して

で

しやるご家庭の方々には、社協の

の様子が見られました。相手の状態

出前塾で学んだことを活かし、さ

一昔前であれば普段の生活の中

存在を身近に感じていただけるよ

の様子が見られました。相手の状態

出前塾で学んだことを活かし、さ

で身についたことが、今は「教

学校の取り組みをご紹介します!



佐渡市立 真野中学校

教頭 井狩 歩 先生

真野中学校では「真野つ子」プロジェクトと

して、佐渡の伝統芸能や文化を学ぶとともに、地域との関わりを大切にしたい地域貢献活動・発信活動に取り組んでいます。

令和元年度から、社協さんのご協力により、民生委員さんに同行して一人暮らしの方や高齢の方のお宅を訪問し、メッセージカード等をお届けしています。また、リコーダー部が社会福祉施設を訪問して、リコーダー演奏をしたりミニゲームをしたりして、交流会を行っています。昨年度は感染症対策のため、このような活動はオンラインでの実施となりました。また、文化祭などの学校行事に地域の年配の方をご招待するおもてなし活動や、「真野地区のつどい」や「真野芸能祭」等の地域行事への参画は、コロナ禍の影響で計画変更や中止をせざるを得ない状況にあるのが残念です。



そんな中、今年度は、佐渡市防災管財課からご指導をいただき、地域の皆さんや社協さんと一緒に防災訓練や防災学習にチャレンジしました。これからも地域とのつながりを大切に、地域の協力を得ながら教育活動を進めていきたいと考えています。

育」として位置づけなければならなくなっています。人は生まれる時代や環境を選ぶことはできません。その中で、子どもたちは子どもたちなりに、今の時代を生きるための学習に取り組んでいます。もちろん、その土台は学校ですが、学校よりも長い時間を過ごす地域での生活も、彼らに大きな影響を与えていると思います。また、学校で学んだことを実際の行動に結びつける場も地域だと思います。ですから、私たちは「地域で育てる」という意識をもって、子どもたちに関わっていくことが大切だと考えています。

小さい頃から福祉との接点を持ち、地域の課題に関心を向けながら暮らしていくことは、未来の支え合い・助け合いへとつながります。そして、地域でのさまざまな方との出会いによって、子どもたちの中に「地域で仲間と共に暮らす意識」が芽生えることは、豊かな地域づくりにもつながります。

そう考えると、子どもたちの成長を支えることは、地域を支えることとも言えるのではないのでしょうか。

10年、20年先の福祉を考えると、その主人公は今の子どもたちです。彼らに素敵な大人の背中を見せられるように、これまで以上に地域の支え合い・助け合いをすすめていきませんか？

子どもたちにとって、地域の皆さん一人ひとりが大切な先生なのです。

※学校運営協議会とは、公立学校の運営に保護者や地域住民の意見を取り入れるための制度で、教育委員会が任命する委員で構成されています。学校や子どもたちのためだけでなく、大人を含めた地域全体を盛り上げる仕組みでもあるでしょう。



令和3年度社会福祉功労者表彰式



※10月22日(金)に佐渡市役所畑野行政サービスセンターで表彰式を開催しました。(写真撮影のため、一時的にマスクを外していただきました。)

◆社会福祉事業施設・団体の役職員としての在職期間が、役員は10年以上、職員は20年以上であり、特に功労顕著の方
植野 研一さん(戸地)

◆民生委員(児童委員)で10年以上勤続し、特に功労顕著の方
仲田 善夫さん(相川下戸村)
池田 栄子さん(河原田諏訪町)
松本 雅裕さん(河原田諏訪町)
古林 文子さん(石田)
伊澤 美恵子さん(名古屋)
清水 英次さん(小木町)

◆社会福祉の進展に尽くし、特に功労顕著の方
加藤 洋さん(大和)

佐渡市の福祉の進展に尽くされた方々をご紹介します。

令和3年度社会福祉功労者表彰

あたたかいご寄付をありがとうございます

令和3年8月16日～10月15日(順不同)

おはようコールボランティア「テレ友」様(佐和田)
タオル40枚
佐渡たばこ組合様
タオル100枚
匿名 1,000円
匿名 こしいぶき(30kg×5袋)
匿名 1,000円

匿名 玄米30kg
匿名 介護用品多数
匿名 米(約75kg)、紙オムツ1袋
匿名 紙オムツ6袋、リハビリパンツ2袋、尿とりパッド10袋

お知らせ

社協訪問入浴介護事業所の移転について

市内全域でのサービス提供を効率よく行うため、訪問入浴介護事業所の事務所を移転しました。

＜移転日＞11月1日(月)

＜移転先＞

佐渡市栗野江1837番地
(畑野デイサービスセンターやわらぎの里内)

＜新電話番号＞ 58-7180

＜新FAX番号＞ 66-4152

移転に伴い、電話番号等が変更になりました。お手数をおかけして申し訳ございませんが、お手元の控えを修正くださいますようお願い申し上げます。

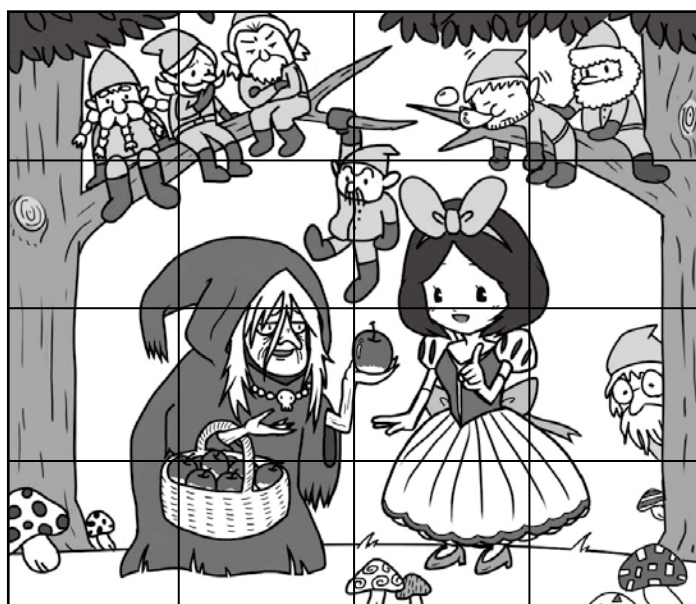
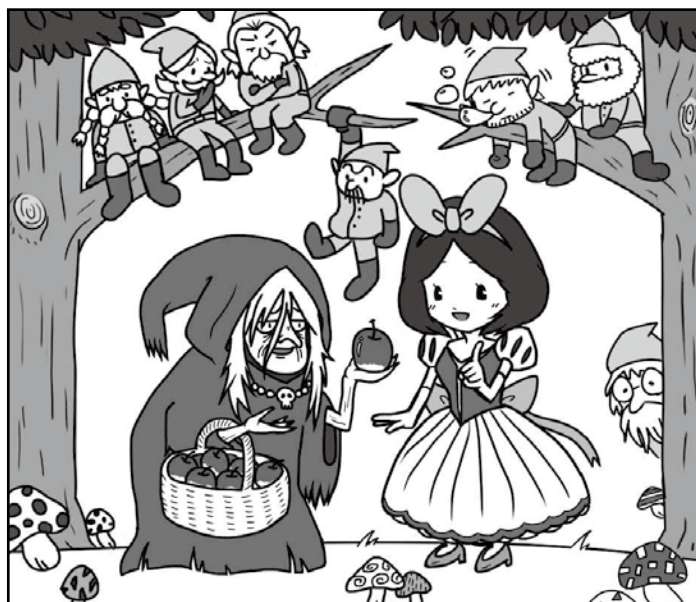


ありがとう、赤い羽根

このたび、新潟県共同募金会の助成を受けて、羽茂支所で地域福祉事業などに使用する車両を整備しました。赤い羽根共同募金にご協力くださった皆さまからの贈り物にとらえ、大切に使用させていただきます。



心からお礼申し上げます。
ありがとうございました。



イラストボランティア 菊池 敏さん（小木）

上下のイラストには、ちがうところが**5か所**あります。
イラストをよく見くらべて、ちがいのあるエリアを
アルファベットでお答えください。

A	B	C	D
E	F	G	H
I	J	K	L
M	N	O	P

やってみよう!

みつけて応募!

◎今月は正解者の中から抽選で5名様に、
西津地区「あんずの家」様の「刺し子のブッ
クカバー」をプレゼントいたします。社
協だよりへのご意見・ご要望などを添え
て、どんどんど応募ください!

【応募方法】

ハガキに問題の答えの他、必要事項をご記入の上、左記宛先ま
でお寄せください。

また、ホームページのお問合せフォームからも応募いただけ
ます。ハガキ同様に必要事項を入力し、送信してください。

締切：12月3日（金）必着

※ご記入いただいた個人情報適切に管理し、景品の発送にの
み使用させていただきます。なお、当選者の発表は商品の発
送をもって代えさせていただきます。

※ご記入いただいた質問や感想を紙面やホームページに掲載さ
せていただく場合があります。ご了承くださいますようお願い
いたします。

宛先

〒952-0206
佐渡市畑野甲533番地
佐渡市社会福祉協議会
社協だより担当者 行

記載 内容

- ・問題の答え・氏名（ふりがな）
- ・住所・電話番号・年齢
- ・社協だよりへのご意見、ご要望など

【前回の答え】

166号の答えは

「中秋の名月」でした。

ご応募くださった皆さま、ありがとうございました。





輝く島の うし年さん

★丑年の皆さんの趣味や楽しみ、健康の秘訣を教えます★

★自薦他薦を問わず、元気な丑年の方を募集しています。応募が集中した場合はご期待に添えないこともありまうので、ご了承ください。よろしくお願いします。



赤泊地区

佐々木幸子さん 大正14年生まれ

卓郎さん 昭和24年生まれ

私たちは親子で丑年です。私は本が大好きで、シニアカーに乗って近くの図書館へ本を借りに行きます。最近瀬戸内寂聴さんの「奇縁まんだら」を読みました。孫から借りる名探偵コナンの漫画も大好きです。息子も海釣りや農作業、ボランティアなどをして、元気に過ごしています。

相田栄一郎さん 昭和12年生まれ

パソコンで好きな囲碁のゲームをしたり、畑仕事をしたりして過ごしています。最近BSでメジャーリーグの野球を見ることも楽しみです。また、健康のために海岸を歩いたり、エアロバイクを使って運動したりしていますが、基本は「食べる」と思い、レシピ本を見ながら野菜を中心とした料理づくりに時間を費やしています。

子ども向け企画

このマークなあに？

普段見かける色々なマークには、どんな意味があるんだろう？
マークを見かけたら、どうすればいいのかな？



今回はほじょ犬マークを紹介するよ。



補助犬とは、目や耳、手足が不自由な人の生活をサポートする「盲導犬」「聴導犬」「介助犬」の3種類の犬たちの呼び名です。この補助犬への理解を広めるために作られたのが「ほじょ犬マーク」で、さまざまな施設の入り口などに貼られています。少し難しくなりますが、「身体障害者補助犬法」という法律があつて、交通機関の他、スーパーやレストラン、ホテルなどの施設は、身体障がいのある方が補助犬を連れて利用することを受け入れる義務があります。

補助犬を見かけると、つい声をかけたくなってしまうかもしれませんが、呼びかけたり触ったりして気を引くことは避けましよう。また、身体障がいのある方は、補助犬と一緒にいても周りのサポートが必要になる場合があります。何か困りごとがある様子を見かけたら積極的に声をかけたり筆談をしたりして、お手伝いしましょうね。



★補助犬は特別な訓練を受けているから社会のマナーを守ることができるし、お手入れも行き届いていて衛生的なんだ。みんな、やさしく見守ってね！



地域のちっといい話



ある地域で暮らす認知症の方。「もし何かあったら…」と、近所の皆さんが見守りをされています。「今日は昼過ぎに出掛けたよ。」「夕方帰ってきたみたい。」「元気そうにしていたよ。」と、自然なカタチで地域に見守りの輪ができています。